

## 残コン・戻りコンの削減にご協力を!!

東京地区生コンクリート協同組合では、年間出荷数量の約3%に相当する残コン・戻りコンが発生しており、90,000 m<sup>3</sup>程度の生コン（金額換算例：90,000 m<sup>3</sup>×14,500 円/m<sup>3</sup>（建設物価 18-18-20-N）≒13 億円）が無駄となり構造物になることが出来ない状況となっています。これはアジテータ車 4.25 m<sup>3</sup>積換算で約21,180 台分に相当し、セメント・骨材などの原材料運搬や産業廃棄物運搬に係る車両の燃料等も無駄に消費されています。

残コン・戻りコンにより発生する産業廃棄物は、年間163,350 トンと推定され、この運搬に係る車両（10 トン積）は、延べ16,335 台も必要となっています。産廃運搬車両（片道分）の燃料由来のCO<sub>2</sub>は、年間2,567 トンとなり、体積換算では東京ドーム1 個分に相当し、環境面からも決して望ましい状態とはいえません。一方、産廃処理業者の減少や処理場容量に限りがあることから、処理費用は高騰を続けるとともにこのままの量を長期に亘り処理し続けることは最早不可能といえます。

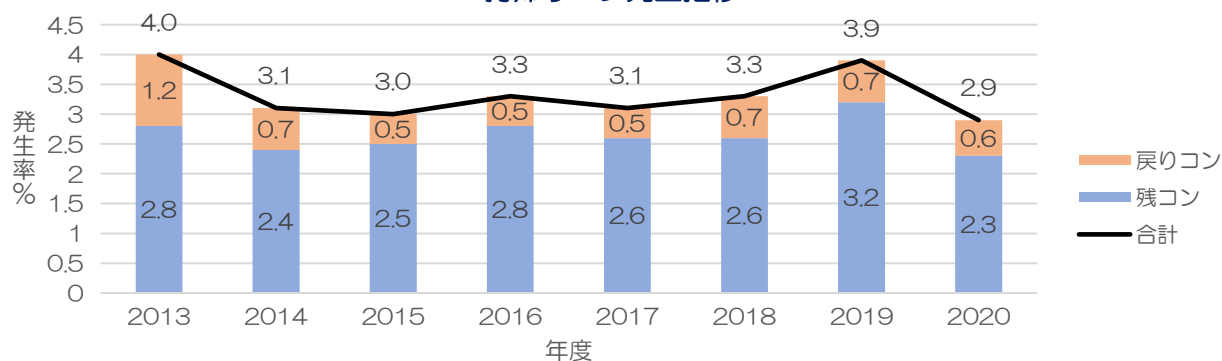
環境負荷低減、資源の有効活用並びにコスト削減の観点から、残コン・戻りコンの発生抑制をお願いしてまいりましたが、事態は改善されているとはいえません。

当協組では、少しでも残コン・戻りコンの発生を抑制するため継続して以下の取り組みを提案してまいります。需要家の皆様方には一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 主な取り組み内容

1. 納入工場・デリバリ店との緊密な連絡体制
2. 必要数量の正確な計量と発注数量の徹底管理
3. 打設途中での残必要数量の再確認
4. 最終打設分発注時の必要数量の精査

持帰りコン発生推移



尚、当協組のホームページに「生コンクリートが出来るまで」「きっと減らせる残コン・戻りコン」と題した著作権フリーの動画をアップしておりますので、ご活用ください。

## 東京地区生コンクリート協同組合

住所 〒103-0027 中央区日本橋3-2-5 電話 営業部 03-3271-2182  
<http://www.t-namakyo.jp>

